

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和7 年 6 月 10 日

山梨県知事

長崎 幸太郎 殿

提出者

住 所 埼玉県さいたま市大宮区2-118
大宮門街SQUARE

氏 名 鹿島建設株式会社 関東支店
常務執行役員 支店長 野村 祥一

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 048-658-7620

山梨県生活環境の保全に関する条例第 6 2 条第 1 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鹿島建設 関東支店 山梨工事事務所
事業場の所在地	山梨県甲府市緑が丘1-13-7
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業・総合建設業・一般土木建設業
② 事業の規模	完成工事高 約14,000,000千円（令和7年度）
③ 従業員数	50名（令和7年4月末現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	（別添）産業廃棄物処理工程のとおり

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(別添) 全社環境管理活動推進体制表のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		別添資料 1 2024年度 産業廃棄物処理実績 内訳のとおり
	排出量		
	（これまでに実施した取組） ・全工事着手時に着手時に環境管理計画の作成、確認、指導を行い、現場ごとの目標設定を行い、実施に至った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		別添資料2 2025年度 産業廃棄物処理計画 内訳のとおり
	排出量		
	（今後実施する予定の取組） 社会的影響の大きい環境事故防止とサステナビリティに向けた取り組み 「計画（有害物漏洩防止、副産物不法投棄防止）の事前確認、 検討会の実施」「脱炭素（カーボンニュートラル）への取組み」 関東支店 廃棄物削減目標 廃棄物総量原単位：45kg/㎡以下、 合廃棄物原単位：9.0kg/㎡以下、最終処分率：3.0%未満		

混

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別している種類：(別添3) 工事別建設廃棄物分別リストとおり ・現場敷地許容範囲内での分別コンテナの有効な設置等の指導。 ・ポスター、横断幕等の掲示による協力会社、作業員への啓蒙。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別している種類：(別添3) 工事別建設廃棄物分別リストとおり ・改修、解体工事にて発生する複合材のより一層の分別、及び 解体時を考慮した新築時の施工方法の改良。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		
該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		
該当なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別添資料1 2024年度 産業廃棄物処実画内訳のとおり		
	全処理委託量			t
	優良認定処理業者への処理委託量			t
	再生利用業者への処理委託量			t
	認定熱回収業者への処理委託量			t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			t
	(これまでに実施した取組)			
	・店社にて、優良産業廃棄物処理業者を選定し、その業者に処理を委託することにより、全ての産廃廃棄物の適正処理を実施した。 ・選定済み優良業者、新規参入業者問わず、施設の現地確認を定期的に変更した。			

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別添「資料2 2025年度 産業廃棄物処理計画 内訳のとおり
	全 処 理 委 託 量	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	
(今後実施する予定の取組) ・前年度同様、優良産業廃棄物処理業者を選定、委託し、全ての産業廃棄物において、適正な処理を行う。また、その処理施設の定期的な現地視察を行う。 ・再生利用業者への委託割合をより一層増加させ、リサイクル率の向上を図る。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

2024年度 産業廃棄物処理実績 内訳

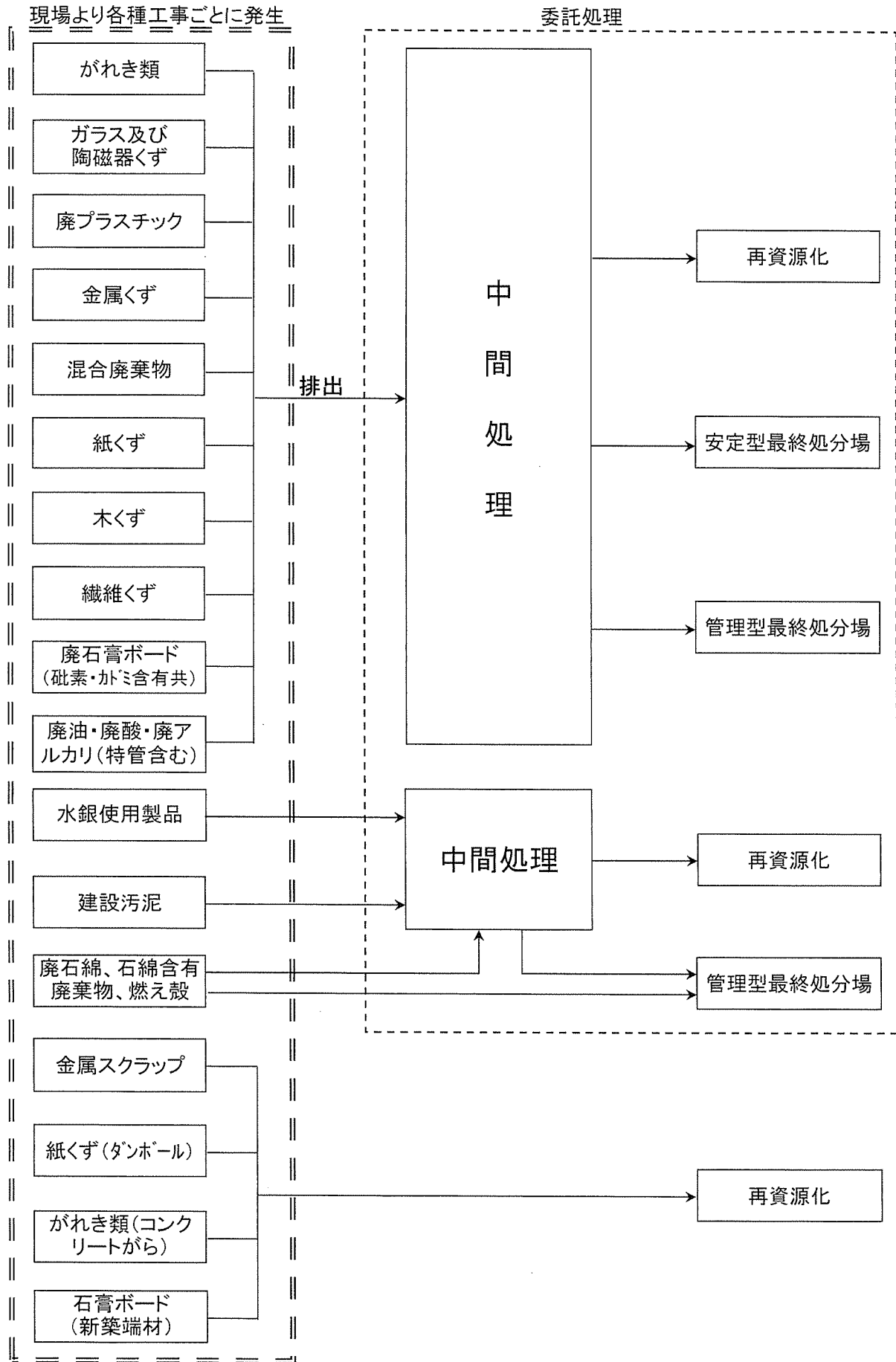
廃棄物の種類	2024年度 目標値	(単位:t)															
		① 排出量	② 自ら直接再生利用した 量	③ 自ら直接埋立 処分又は海洋 投入処分した 量	④ 自ら中間処 理した量	⑤ ④のうち熱 回収を行った 量	⑥ 自ら中間処 理した後の 残さ量	⑦ 自ら中間処 理により減 量した量	⑧ 自ら中間処 理した後再 生利用した 量	⑨ 自ら中間処 理した後自ら埋 立処分又は海 洋投入した量	⑩ 直接及び自ら 中間処理した 後の処理委託 量	⑪ ⑩のうち優良 認定処理業者 への処理委託 量	⑫ ⑩のうち再生 利用業者への 処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回 収認定業者以 外の熱回収を 行う業者への 処理委託量	②+⑧	③+⑨
汚泥(現場内脱水設備あり)	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
コンクリートがら	0.0	22.1	0	0	0	0	0	0	0	0	704.7	0	704.7	0	0	0	0
アスコンがら	0.0	18.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.8	0	4.8	0	0	0	0
木くず	0.0	14.4	0	0	0	0	0	0	0	0	35.7	0	35.7	0	0	0	0
伐採材・抜根材	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
廃プラスチック類	0.0	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	32.8	0	32.8	0	0	0	0
金属くず(産廃扱い)	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
混合廃棄物	0.0	28.8	0	0	0	0	0	0	0	0	32.1	0.0	32.1	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物(非飛散性アスベスト)	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物(飛散性アスベスト)	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
その他有害廃棄物	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
廃石膏ボード	0.0	12.0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.0	0	4.0	0	0	0	0
その他紙くず	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.0	0.0	4.0	0	0	0	0
その他のがれき類	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5	0.0	2.5	0	0	0	0
繊維くず	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0
計	0.0	95.8	0	0	0	0	0	0	0	0	820.6	0.0	820.6	0	0	0	0

2025年度 産業廃棄物処理計画 内訳

(単位:t)

廃棄物の種類	2025年度 目標値	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	②+⑧	③+⑨
		排出量	自ら直接再生利用した量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理した後再生利用した量	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入した量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	自ら再生利用を行った量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
建設汚泥	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
コンクリートがら	700.0	700.0	0	0	0	0	0	0	0	0	700.0	0	700.0	0	0	0	0
アスコンがら	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	5.0	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0	0	5.0	0	0	0	0
木くず	25.0	25.0	0	0	0	0	0	0	0	0	25.0	0	25.0	0	0	0	0
伐採材・抜根材	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
廃プラスチック類	30.0	30.0	0	0	0	0	0	0	0	0	30.0	0	30.0	0	0	0	0
金属くず(産廃扱い)	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
混合廃棄物	30.0	30.0	0	0	0	0	0	0	0	0	30.0	0.0	30.0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物(非飛散性アスベスト)	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物(飛散性アスベスト)	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
その他有害物質	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
廃石膏ボード	5.0	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0	0	5.0	0	0	0	0
その他紙くず	5.0	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0	0	5.0	0	0	0	0
その他がれき類	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
計	800.0	800.0	0	0	0	0	0	0	0	0	800.0	0.0	800.0	0	0	0	0

産業廃棄物処理工程



全社環境管理活動推進体制表

